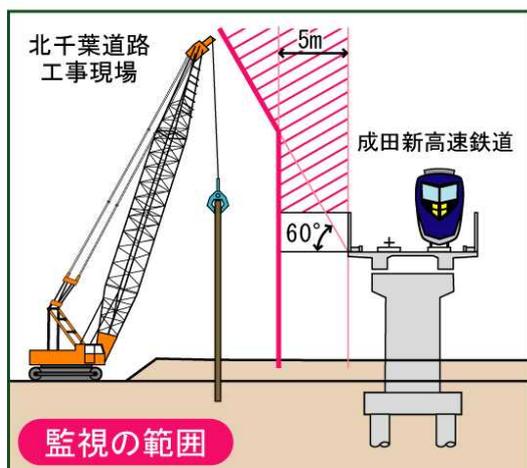


工事における成田新高速鉄道への配慮

監視の範囲

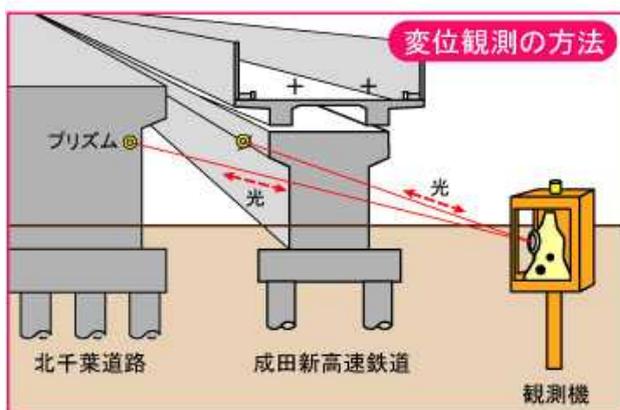


北千葉道路の作業が、成田新高速鉄道の防音壁から5m、軌道の端から60° の範囲内(ピンク斜線部)となる場合、列車通過時に作業を一時中止するなどの対策がとられています。

変位観測の方法



各工事において、変位計測機を設置し、鉄道構造物の変位を30分毎に観測しています。水平変位および鉛直変位の管理値を±3mmとし、管理値を超えた場合は、工事を一時中止し、原因確認を行います。



構造物に固定されたプリズムに光を照射し、反射して戻ってきた光がズレていないかどうかで、変位を調べます。